



継続は力なり

10日（金）に、3年生が三豊中学校を巣立っていきました。新しい生活に向かって歩き出したのです。一人一人の夢が実現できるよう、みんなで応援しましょう。

さて、式辞の中で、私は、元プロ野球選手のイチローさんの話を例に取り、「地道に努力することの大切さ」について話しました。

イチローさんは、自身の引退会見の中で、それまでの生き方について問われ、次のように答えています。「人より努力しているかどうかということではない。あくまで秤（はかり）は自分の中にある。それで自分なりにその秤を使いながら、自分の限界を見ながら、ちょっと超えるということを繰り返していく。そうすると、いつの間にか『こんな自分になっているんだ』という状態になっている。だから、少しずつの積み重ねでしか自分を超えていけないと思う。一気に高みに行こうとすると、今の自分とのギャップがありすぎて続けられない。だから、地道に進むしかない。」また、こんなことも言っています。「自分がやると決めたことを信じてやっていく。ただ、それは正解とは限らない。間違ったことを続けてしまっているということもあるかもしれない。それでも、そうやって遠回りすることでしか、ホントの自分に出会えない気がする。」

この式辞は、卒業生はもちろんですが、在校生の皆さんに向けてもメッセージとして話したつもりです。「継続は力なり」とは言い尽くされた言葉ですが、これからの学校生活において、胸に刻んでおいてほしい言葉です。2年生は1年後、1年生は2年後の自分をイメージしながら、夢や目標の実現のために、自分を大切に、そして時間を大切に頑張りましょう。

安全・安心な学校のために

報道等でご存じだと思いますが、先日、広島市の中学校で、生徒が同級生に刃物で切りつけるという事件が起きました。このことを踏まえ、本校において同様の事件が起きないために何をしなければならないかを、教職員で話し合いました。我々に何ができるか。これまでも言い尽くされていることではありますが、

- 「生徒がいるところに教職員がいる」ことを徹底する。
- 定期的に教育相談期間を設け、教職員やスクールカウンセラーが生徒の悩みなどに寄り添う体制をより一層充実させるとともに、日頃の生徒観察を重視し、気になることは必ず情報共有する。
- 不要物に対する生徒の意識をあらためさせる。

などのことについて、再確認しました。

この中で、「不要物」については、最近、生徒の意識が緩くなっていると心配しています。今年に入っても、お菓子や化粧品、スマートフォンなどの持ち込みがあり、それぞれ指導したところですが、あわせて、我々教職員もタイムリーで適切な指導をしなければならないと、気を引き締め直しました。保護者の皆様にも、お子さんの持ち物については、十分ご留意くださるようお願いいたします。また、学校では、不要物に関連したこととして、「持ってくるべきではないもの」「持ってきてよいが、使い方を考えなければならないもの」「持ってくるためには、手続きを踏まなければならないもの」などについてもう一度整理し、あらためて生徒たちに再確認します。

そして、今回のような事件を防ぐためには、「決して他人事ではない」という危機意識を大人たちが持つことが必要だと考えます。我々教職員と保護者の皆様で協力して、安全・安心な学校を維持し、生徒たちの充実した教育活動につなげなければならないと考えています。

今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。